レポートに取りくむ中で、今の課題が見えてきました。それは、これまでの実践が慣例的になり何となくやってしまっている事がある。そもそもがわからず、「あゆみのやり方だから」と踏襲するだけになる危険性がありました。たとえば先ほどの手づかみ食べも、趣旨を理解していなければ、雑駁（ざっぱく）な保育になります。

保育大会は、あゆみの作ってきた食育実践を振り返り、学び直す機会になりました。

今私たちは、職員の世代交代の最中にいます。これまで先輩たちが築いてくれたことの芯の部分をしっかり捉え、若い職員の力を十分に発揮し発展していかれるように力を尽くしたいと思っています。

さりげない日常の中で！

理事長　小林　史

我が家の居間やトイレの壁は、私の家内の性癖が過ぎて何十年も前から子どもの絵や孫の絵や手紙、思い出の絵はがき、本や雑誌等のコピー、家族の写真など隙間もなく無造作に貼られています。

トイレの貼り物は、ある意味、誰にも干渉されず一人で楽しめます。

つい最近、気にも懸けなかったが少し黄ばんだコピー用紙の文章が眼に留まり改めて新鮮な気持ちになり、その書籍を読みたくなりました。

子は親の鏡」（ドロシー・ロー・ノルト作）もちろん教育や保育に携わる人にとってはバイブルのような詩です。書籍の題名は 子どもが育つ魔法の言葉」（ドロシー・ロー・ノルト＆レイチャル・ハリス）

《石井千春＝翻訳　PHP研究所＝出版》

早速、この書籍が読みたくなり、家内に図書館から再度借りてきて貰いました。

もし、よかったら一読をお薦めします。詩の内容や項目ごとに、丁寧に、作者の想いを具体的に説明されとても素晴らしく読み応えがあります。

又、翻訳者が、言葉を相当吟味されていることもあり、的確な表現で構成されていて、とても読みやすい本です。

特に子育てで、迷ったり悩んでいる若いお母さんやお父さんに特にお薦めしたい書籍と思います。少し長い文章ですが、彼女の詩をここに紹介させて頂きます。

「子は親の鏡」

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、
人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、
乱暴になる
不安な気持ちで育てると、
子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てる
と、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、
引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、
子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは、
「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、
自信を持つようになる
広い心で接すれば、
キレる子にはならない

褒めてあげれば、子どもは、
明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、
人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、
自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、
頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、
思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、
正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、
正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、
子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、
強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中は、
いいところだと思えるようになる
以上

ピアノをいただきました

卒園児の柳原さん、椙屋さん宅よりピアノをご寄付いただきました。

長年使っているピアノの代わりを探しておりました。

ご紹介とともに、お礼に替えさせていただきます。

「梅干し大好き」のいっちゃん

理事　大安ヒデ子

いっちゃんは、私の孫です。

今春、大好きなお友達と担任の先生にお別れして上田養護学校の一年生となりました。

在園中、いっちゃんの成長をもどかしく思う私に、園長や担任の先生は「いっちゃんはなんでもよくわかっているよ、かしこいよ」といって下さっていました。

最近、その成長をまさに実感するできごとがありました。

いっちゃんは梅干し（小梅）が大好きで、遊びに来た時はいつも欲しがります。

種を出してねと言うと果肉のついたままをゴミ箱に捨ててしまうので、種を取って、果肉だけ食べられるようにしていました。

ある時、それを待ち切れずに私の持つお箸からサッと取って口に入れてしまいました。

「種を出してネ－！！」と口に手を当てようとすると、パッと身をかわして逃げて行きました。

「まあ～小さい種一つくらいいいか」と思って、台所で仕事をしていると、トントンと叩くので「なあに」と振り返るとなんとまるで洗ったようにきれいになった小さな種が差し出されていたのです。

「すごいね、いっちゃん－！！」と背をなでると最高の笑顔を向けてくれました。

言われていることは、ちゃんとわかっているよ、"どうだ"という得意顔でした。

いっちゃんなりのペースで確実に成長していくことを教えてもらいました。

後になりましたが、国基準を超えての職員配置をしてもらったこと、障害があっても、なくても、ひとり、ひとりを尊重して熱い思いを注いでくださった関係者の方々に感謝いたします。

あゆみ保育園、ありがとう－！！